

建築遺構調査・史跡整備・測量

建造物研究室・平城宮跡発掘調査部

1. 建造物、町並・集落等の調査

白水阿弥陀堂の調査（福島県いわき市） 1972年9月。沢村・宮本。日本建築史基礎資料集
成のための調査（科学研究費，代表者・太田博太郎）として，古材調査および一部の実測と写真
撮影をおこなった。

西大寺近世建築の調査（奈良県） 1972年10月～12月。沢村・藤村・上野。本堂・石落神の

実測を主とする西大寺近世建築の資料収集のために調査した。

奈良県町並予備調査（奈良県） 文化庁による全国の町並・集落予備調査の一環として、奈良県教育委員会と協同で、五条市新町、御所市、桜井市脇本・三輪、大和郡山市番匠・若槻などの現状調査をおこなった。

橿原市吉川家住宅の調査（奈良県） 鈴木・宮沢・天田。県立大和民俗公園への移築にともなう解体復原調査の結果、18C初期の建設と認められ、旧状が明らかとなった。

中家住宅（奈良県生駒郡安堵村） 鈴木・天田。解体修理工事にともなう調査に協力した。

2. 環境整備

難波宮跡（大阪市東区法円坂町） 1972年4月～73年3月。沢村。大阪市の依頼により難波宮大極殿跡の基壇復原計画及び工事を指導した。

大宰府都府楼跡（福岡県筑紫郡太宰府町） 1972年3月～73年4月。牛川・田中。都府楼東辺回廊及びそれに接する大溝復原のための整備計画を行なった。

出雲国庁跡（松江市長草町） 1972年4月。牛川・田中。島根県の依頼により出雲国庁跡整備の実施設計・施工の指導をおこなった。本年度は付替道路の造成と全域の地形造成が完了した。

多賀城内城跡（宮城県多賀城市） 1972年4月～1973年3月。特別史跡多賀城跡内城の石敷・協殿の整備計画に協力した。

一乗谷朝倉氏館跡（福井市足羽町） 1971年～。牛川・田中。1971・72年度発掘調査で検出した建物、土塁の一部積直し、一部復原、園路の造成、石敷遺構のエポキシ系樹脂注入による補強、植栽、案内板の設置について指導した。館跡の土塁内部の整備は今年度で一応完了した。

美濃国分寺跡（岐阜県大垣市） 1972年12月。田中。大垣市の依頼により美濃国分寺跡の整備基本設計を指導した。

3. 写真測量ほか

京博蔵遼代多宝千仏石幢（京都市） 1972年9月。京都国立博物館の屋外に展示されていた石幢を、旧館内に移設する際、屋外で組まれた状態の立面図と、解体後、各部材の平面図を得るための撮影をおこない、縮尺 $1/5$ で図化した。

今井町町並（奈良県橿原市） 今井町の町並の立面図作成のため、指定民家の棟を含む、通称中町の東西筋98mを対象に撮影し、縮尺 $1/50$ の図化をおこなった。

古照遺跡（愛媛県松山市） 1972年12月。牛川・工楽・黒崎・佃。松山市の依頼により、下水処理場建設の際発見された木組遺構の写真測量をおこなった。

白水阿弥陀堂（福島県いわき市） 1972年9月。牛川・伊東・田中。いわき市の依頼により史跡白水阿弥陀堂境域の環境整備に伴ない、旧園池の規模を知るため電気探査をおこなった。